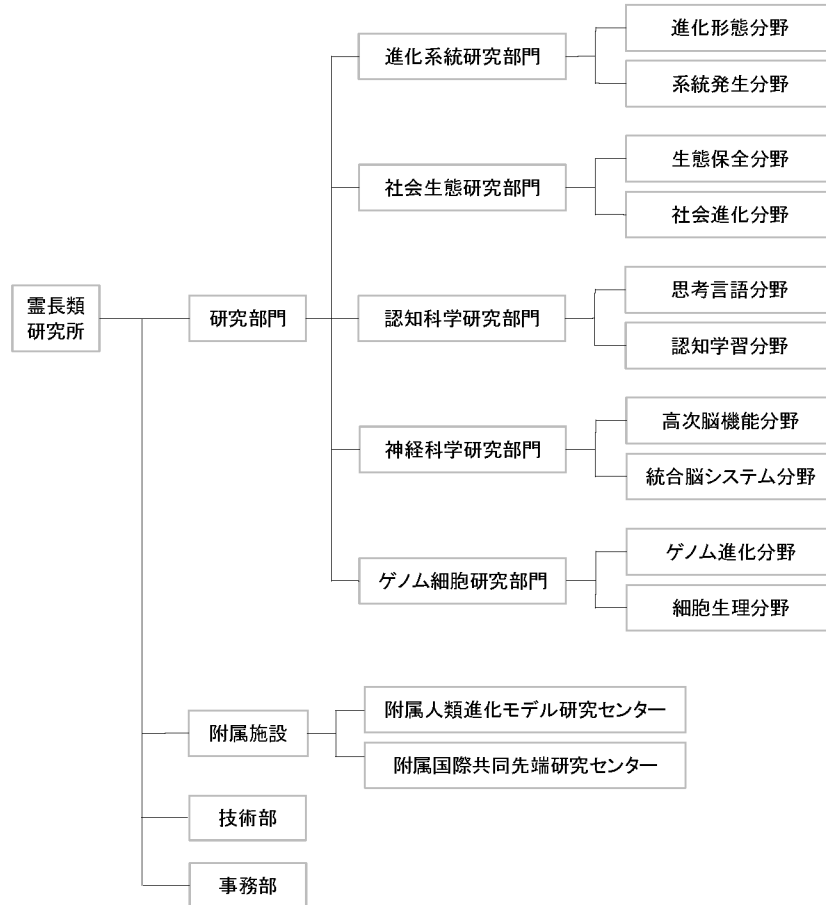


2. 研究所の概要

2.1 組織

2.1.1 組織の概要(2020年3月31日現在)

組織図



所長・運営委員・事務長

| | | |
|-------|-------|--------------------------|
| 所長 | 湯本貴和 | (京都大学副理事(宇治・遠隔地キャンパス担当)) |
| 運営委員 | 渡邊隆司 | (京都大学霊長類研究所 教授) |
| (順不同) | 高田昌彦 | (京都大学霊長類研究所 教授) |
| | 友永雅己 | (京都大学大学院理学研究科 教授) |
| | 中務真人 | (京都大学大学院理学研究科 教授) |
| | 中川尚史 | (京都大学大学院医学研究科 教授) |
| | 伊佐正 | (東京大学総合研究博物館 教授) |
| | 諏訪元 | (東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授) |
| | 河村正二 | (大阪大学大学院人間科学研究科 教授) |
| | 中道正之 | (関西学院大学総合政策学部 教授) |
| | 高畑由起夫 | (実験動物中央研究所 理事) |
| | 鍵山直子 | (鹿児島大学共同獣医学部 准教授) |
| | 藤田志歩 | (椋山女学園大学人間関係学部 教授) |
| | 五百部裕 | (東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科 教授) |
| 事務長 | 泰羅雅登 | |
| | 畷村克 | |

職員の内訳

| 教授 | 准教授 | 助教 | 特定 助教 | 特定 研究員 | 事務 職員 | 技術 職員 | 小計 | 非常勤 (時間) | 合計 |
|----|-----|----|----------|-----------|----------|----------|----|-------------|-----|
| 12 | 10 | 13 | 6 | 9 | 8 | 7 | 65 | 95 | 154 |

大学院学生・研究者等の内訳

| 博士後期課程 | 修士課程 | 特別研究学生 | 外国人共同研究者 | 特別研究員(PD) | 合計 |
|--------|------|--------|----------|-----------|----|
| 32 | 19 | 0 | 3 | 2 | 56 |

2.1.2 所員一覧(2020年3月31日現在)

進化形態分野

| | | | |
|-------|--------|--------|---------------------------------|
| 教授 | 濱田 穰 | 同 | RIGAILL, Lucie Marie |
| 准教授 | 平崎 鋭矢 | Louise | |
| 助教 | 伊藤 毅 | 事務補佐員 | 三浦 久美 |
| 事務補佐員 | 田中 美希子 | 大学院生 | 戸田 和弥 |
| 技術補佐員 | 田中 美希子 | 同 | 石塚 真太郎 |
| 大学院生 | 木下 勇貴 | 同 | ALEJANDRO PASTRANA Josue Samuel |

系統発生分野

| | | | |
|-------|---------------|---|--------------------|
| 教授 | 高井 正成 | 同 | NAUTIYAL, Himani |
| 准教授 | 西村 剛 | 同 | 横山 拓真 |
| 助教 | 江木 直子 | 同 | BROCHE JR., Nelson |
| 技術補佐員 | 服部 美里 | 同 | 柴田 翔平 |
| 同 | 坪内 寿美子 | 同 | XU, Zhihoung |
| 同 | 片岡 敦子 | 同 | FASBENDER, David |
| 大学院生 | INSANI, Halmi | 同 | 李 保輪 |
| 同 | 浅見 真生 | 同 | |

生態保全分野

| | | | |
|----------|--------------|---|-----------------------|
| 教授 | 湯本 貴和 | 同 | 友永 雅己 |
| 准教授 | 半谷 吾郎 | 同 | 足立 幾磨 |
| 助教 | 橋本 千絵 | 同 | 林 美里 |
| 特定助教 | 竹元 博幸 | 同 | 打越 万喜子 |
| 研究員(非常勤) | 毛利 恵子 | 同 | 田和 優子 |
| 技術補佐員 | 鬼澤 康太 | 同 | 研究員(非常勤) |
| 同 | 高野 かおり | 同 | ALLANIC, Morgane |
| 大学院生 | 武 真祈子 | 同 | WILSON, Duncan Andrew |
| 同 | 本田 剛章 | 同 | 平田 加奈子 |
| 同 | 峠 明杜 | 同 | 大藪 陽子 |
| 同 | LEE, Wanyi | 同 | 土居 哲矢 |
| 同 | HE, Tianmeng | 同 | 渡邊 雅史 |
| 同 | 徳重 江美 | 同 | 市野 悦子 |
| 研究生 | 戸田 恵美 | 同 | 高島 友子 |

社会進化分野

| | | | |
|----------|-----------------------|---|--------------------------------|
| 教授 | 古市 剛史 | 同 | 萩 博文 |
| 准教授 | Huffman, Michael Alan | 同 | 山本 知里 |
| 助教 | 辻 大和 | 同 | PEREIRA COSTA, Raquel Filomena |
| 研究員(非常勤) | 柳 興鎮 | 同 | GAO, Jie |
| | | 同 | 川口 ゆり |
| | | 同 | Andre Goncalves |
| | | 同 | 徐 沈文 |
| | | 同 | 三田 歩 |
| | | 同 | 横山 実玖歩 |

認知学習分野

教授 正高 信男
 准教授 後藤 幸織
 助教 香田 啓貴
 特定研究員 森田 堯
 事務補佐員 澤田 彰子
 技術補佐員 石田 恵子
 同 國枝 匠
 同 大洞 つかさ
 大学院生 大野 邦久
 同 Srishti Triathi
 同 浅岡 由衣
 同 KADAM, Sanjana

高次脳機能分野

教授 中村 克樹
 准教授 宮地 重弘
 助教 脇田 真清
 特定助教 鴻池 菜保
 同 勝山 成美
 特定研究員 池田 琢朗
 同 三輪 美樹
 特定職員 鈴木 冬華
 事務補佐員 水野 名緒子
 技術補佐員 濱寄 裕介
 同 正村 聡美
 同 眞下 久美子
 同 渡邊 紀子
 大学院生 岩沖 晴彦
 同 櫛原 慧
 同 大原 峻太郎
 同 西村 洋志

統合脳システム分野

教授 高田 昌彦
 准教授 大石 高生
 助教 井上 謙一
 特定助教 網田 英敏
 特定研究員 山中 創
 研究員（非常勤） 藤原 真紀
 同 今度 ゆりこ
 事務補佐員 安藤 恵子
 同 後藤 有紀
 技術補佐員 雨森 智子
 同 角谷 絵里
 同 田中 江美子
 同 中野 真由子
 特別研究員 菊田 里美
 大学院生 田辺 創思
 同 高田 裕生
 同 大塚 友紀子
 同 木村 慧
 大学院生 UENO - NIGH, Louie Richard
 同 ZHENG, Andi
 同 OH, Jungmin
 同 YAN, Gaoge

ゲノム進化分野

教授 今井 啓雄
 助教 今村 公紀
 事務補佐員 安武 香織
 技術補佐員 梅村 美穂子
 同 谷 和女
 研究支援推進員 伯川 美穂
 大学院生 糸井川 壮大
 同 林 美紗
 同 仲井 理沙子
 同 YAN, Xiaochan
 同 井藤 晴香
 同 小塚 大輝
 同 杉山 宗太郎

細胞生理分野

教授 古賀 章彦
 教授 岡本 宗裕
 助教 桂 有加子
 事務補佐員 澤村 育栄
 技術補佐員 榎元 裕紀

附属人類進化モデル研究センター

センター長・准教授(併) 大石 高生
 教授(兼) 岡本 宗裕
 教授 明里 宏文
 准教授 鈴木 樹理
 助教 田中 洋之
 同 宮部 貴子
 特定研究員 関 洋平
 同 鷲崎 彩夏
 同 村田 めぐみ
 事務補佐員 阿部 恵
 技術補佐員 井上 千聡
 同 辻 薫
 技能補佐員 荻野 奈美
 同 尾辻 佑奈
 同 子川 みどり
 同 坂下 佐貴子
 同 佐々木 敬子
 同 柴田 有華
 同 町田 聡子
 研究支援推進員 井戸 みゆき
 同 大堀 美佳
 同 ゴドジャリ 静
 同 土屋 佳代子
 同 葉栗 和枝
 同 堀内 ゆかり
 同 横江 実穂子
 大学院生 GRIS, VANESSA
 同 TAN, Wei Keat
 同 BISWAS, Satyyajit

附属国際共同先端研究センター

センター長（併） 湯本 貴和
准教授 MACINTOSH, Andrew James
Jonathan
助教 服部 裕子
特定助教 富谷 進
特定職員 大内山 清香
事務補佐員 時吉 真由美
同 吉田 野枝
外国人特別研究員 SARABIAN, Cecile Anna
同 SIGAUD Marie, Agnes
大学院生 Xu Zhihoung
研究生 KEEK, Kenneth
同 LAUNGGENG, Abudullah

チンパンジー（林原）研究部門

教授（兼） 友永 雅己
助教（兼） 林 美里
寄附研究部門教員 藤澤 道子
同 川上 文人

ワイルドライフサイエンス（名古屋鉄道）

研究部門

教授（兼） 湯本 貴和
教授（兼） 友永 雅己
助教（兼） 林 美里
寄附研究部門教員 中村 美穂

NBRP（ニホンザル）

教授（兼） 中村 克樹
特定助教 東濃 篤徳
特定職員 佐野 素子
研究員（非常勤） 濱井 美弥
技術補佐員 安江 美雪
技能補佐員 大川 夏菜
同 常川 千穂
同 常盤 准子
同 吾田 嘉彦
同 金 玲花
同 洞田 智子
教務補佐員 熊谷 かつ江

白眉プロジェクト

特定准教授 雨森 賢一

技術部

技術専門職員 森本 真弓
同 兼子 明久
同 前田 典彦
同 橋本 直子
技術職員 愛洲 星太郎
同 石上 暁代
同 夏目 尊好
同 山中 淳史

所長室

所長 湯本 貴和
事務補佐員 大井 由里

事務部

事務長 畠村 克

総務掛

掛長 樋口 雅之
事務職員 寺脇 大輔
同 新宅 優有
特定職員 林 知佳
事務補佐員 石田 直也
同 大重 佳美
同 竹内 恵子
同 広瀬 里江子
同 松澤 美津子

宿泊棟

労務補佐員 野村 幸子
同 福富 美幸

研究助成掛

掛長（兼） 小柳 吉邦
主任 井上 雅義
事務補佐員 石井 利枝
同 寺田 律子
同 藤井 妙子

図書室

主任 高井 一恵
事務補佐員 渡邊 純子

会計掛

掛長 小柳 吉邦
主任 林 優作
事務補佐員 木邨 有純
同 和田 美奈

多目的ホール

労務補佐員 橋本 恵美
同 牧村 徳子
同 松本 公恵
同 宮地 理恵子
同 矢野 奈生

大学院生

2019年度 生物科学専攻（霊長類学・野生動物系）

| 学年 | 氏名 | 指導教員 |
|----|--------|---------------------|
| D3 | 石塚 真太郎 | [古市 剛史、今井 啓雄] |
| D3 | 岩沖 晴彦 | [中村 克樹、今村 公紀] |
| D3 | 大野 邦久 | [正高 信男、脇田 真清] |
| D3 | 武 真祈子 | [湯本 貴和、江木 直子] |
| D3 | 田辺 創思 | [高田 昌彦、井上 謙一、中村 克樹] |

- D3 戸田 和弥 [古市 剛史、足立 幾磨
橋本 千絵]
- D3 INSANI, Halmi [高井 正成、
A. J. J. MACINTOSH]
- D3 NAUTIYAL, Himani
[M. A. Huffman、田中 洋之]
- D3 ALEJANDRO PASTRANA, Josue Samuel
[M. A. Huffman、足立 幾磨]
- D3 本田 剛章 [半谷 吾郎、古賀 章彦]
- D3 PEREIRA COSTA, Raquel Filomena
[友永 雅己、M. A. Huffman、
林 美里]
- D3 GAO, Jie [友永 雅己、M. A. Huffman]
- D2 浅見 真生 [高井 正成、半谷 吾郎]
- D2 Andre Goncalves
[友永 雅己、
A. J. J. MACINTOSH]
- D2 糸井川 壮大 [今井 啓雄、大石 高生]
- D2 川口 ゆり [友永 雅己、香田 啓貴]
- D2 高田 裕生 [高田 昌彦、宮地 重弘]
- D2 峠 明杜 [湯本 貴和、岡本 宗裕、
橋本 千絵]
- D2 樋原 慧 [中村 克樹、湯本 貴和]
- D2 林 美紗 [今井 啓雄、大石 高生]
- D2 横山 拓真 [古市 剛史、高井 正成、
橋本 千絵]
- D2 Srishti Triathi
[後藤 幸織、M. A. Huffman]
- D2 BROCHE JR., Nelson
[M. A. Huffman、大石 高生]
- D1 大塚 友紀子 [高田 昌彦、中村 克樹、
井上 謙一]
- D1 木村 慧 [高田 昌彦、中村 克樹、
井上 謙一]
- M2 TAN, Wei-Keat [明里 宏文、鈴木 樹里]
- M2 徳重 江美 [古市 剛史、橋本 千絵、
岡本 宗裕]
- M2 Xu Zhihong [岡本 宗裕、
A. J. J. MACINTOSH]
- M1 浅岡 由衣 [後藤 幸織、足立 幾磨]
- M1 大原 峻太郎 [中村 克樹、香田 啓貴]
- M1 YAN, Gaoge [高田 昌彦、中村 克樹]
- M1 小塚 大輝 [今井 啓雄、大石 高生、
今村 公紀]
- M1 三田 歩 [友永 雅己、辻 大和]
- M1 杉山 宗太郎 [今井 啓雄、大石 高生]
- M1 FASBENDER, David
[古市 剛史、足立 幾磨、
橋本 千絵]
- M1 西村 洋志 [中村 克樹、半谷 吾郎]
- M1 横山 実玖歩 [友永 雅己、香田 啓貴]
- M1 BISWAS, Satyyajit
[明里 宏文、鈴木 樹理]
- M1 KADAM, Sanjana [後藤 幸織、M. A. Huffman]
- D1 GRIS, Vanessa Nadine
[鈴木 樹理、宮部 貴子、
A. J. J. MACINTOSH]
- D1 柴田 翔平 [古市 剛史、宮部 貴子、
橋本 千絵]
- D1 仲井 理沙子 [今井 啓雄、大石 高生、
今村 公紀]
- D1 YAN, Xiaochan [今井 啓雄、M. A. Huffman]
- D1 LEE, Wanyi [半谷 吾郎、友永 雅己]
- D1 HE, Tianmeng [半谷 吾郎、友永 雅己]
- D1 UENO - NIGT, Louie Richard
[高田 昌彦、中村 克樹、
大石 高生]
- M2 ZHENG, Andi [高田 昌彦、中村 克樹、
井上 謙一]
- M2 井藤 晴香 [今井 啓雄、大石 高生、
今村 公紀]
- M2 木下 勇貴 [平崎 鋭矢、高井 正成]
- M2 徐 沈文 [友永 雅己、
A. J. J. MACINTOSH]
- M2 OH, Jungmin [高田 昌彦、中村 克樹、
大石 高生]

研究支援推進員

| 氏名 | 採用期間 |
|---------|-----------------------|
| 葉栗 和枝 | 2019/04/01-2020/03/31 |
| 堀内 ゆかり | 2019/04/01-2020/03/31 |
| 井戸 みゆき | 2019/04/01-2020/03/31 |
| ゴドジャリ 静 | 2019/04/01-2020/03/31 |
| 土屋 佳代子 | 2019/04/01-2020/03/31 |
| 大堀 美佳 | 2019/09/01-2020/03/31 |
| 横江 実穂子 | 2019/09/01-2020/03/31 |
| 伯川 美穂 | 2020/02/01-2020/03/31 |
| 市野 悦子 | 2020/01/01-2020/03/31 |

2.2 予算概況

2.2.1 予算概要 (金額の単位は千円)

| | | |
|--------|--------------------------------|---------|
| 運営費交付金 | 人件費 | 511,538 |
| | 物件費 | 355,261 |
| | 計 | 866,799 |
| 外部資金 | 受託研究費 (10 件) | 142,477 |
| | 受託事業費 (2 件) | 3,460 |
| | 共同研究費 (4 件) | 6,525 |
| | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費助成事業等 (61 件) | 228,248 |
| | 医療研究開発推進事業費 (3 件) | 92,655 |
| | 研究大学強化促進事業 (1 件) | 3,000 |
| | 国立大学改革強化推進補助金 (1 件) | 4,725 |
| | 寄附金 (9 件) | 14,313 |
| | 間接経費、一般管理費等 | 60,244 |
| 計 | 555,647 | |
| 合計 | 1,422,446 | |

2.2.2 研究費・事業費・寄附金

(1) 受託研究費 (金額は間接経費を除く)

| 研究種別・委託者等 | 研究代表者 | 金額 | 研究課題 |
|--|-------|-------------|---|
| 革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト(AMED) | 中村 克樹 | 25,000,000 | 体格の良いマーマモセットの飼育法の確立と個体の供給 |
| 革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト(AMED) | 高田 昌彦 | 40,000,000 | 新規ウイルスベクターシステムを用いた霊長類脳への遺伝子導入技術に関する研究開発 |
| 戦略的創造研究推進事業・さきがけ(JST) | 井上 謙一 | 8,000,000 | 光操作による神経ネットワークの高解像度 5D 解析法の確立を目指した基盤技術開発 |
| 感染症実用化研究事業・エイズ対策実用化研究事業(AMED) | 明里 宏文 | 23,884,616 | HIV 感染症の根治療法創出のための基礎・応用研究 |
| 感染症実用化研究事業・肝炎等克服実用化研究事業(AMED) | 明里 宏文 | 7,692,308 | 効果的な新規 B 型肝炎ウイルスワクチンの開発を目指した基礎的研究 (霊長類モデルを用いた新規 HBV ワクチンの評価) |
| 感染症実用化研究事業・新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業(AMED) | 明里 宏文 | 3,000,000 | 抗HTLV-1ヒト免疫グロブリンによるHTLV-1感染・発症予防法の開発に関する研究 |
| 戦略的創造研究推進事業・CREST(JST) | 高田 昌彦 | 22,800,000 | 基底核ドーパミン回路の機能局在解明と機能再建：特にウイルスベクター開発 |
| 戦略的国際脳科学研究推進プログラム(AMED) | 井上 謙一 | 10,000,000 | 霊長類におけるニューロン種選択的な遺伝子発現制御技術の開発 |
| 次世代がん医療創生研究事業(AMED) | 明里 宏文 | 1,000,000 | STLV 自然感染ニホンザル個体の供給ならびに定性 |
| (株)IHIとの受託研究 | 足立 幾磨 | 1,100,000 | コト売りにおけるヒトの共感メカニズムに関する研究 |
| | 10 件 | 142,476,924 | |

(2) 受託事業費（金額は業務委託手数料および間接経費を除く）

| 研究種別・委託者等 | 研究代表者 | 金額 | 研究課題 |
|-----------------------|-------|-----------|---|
| 二国間交流事業共同研究(日本学術振興会) | 今井 啓雄 | 2,337,500 | ゲノム・形態・行動からみたインドネシアにおけるコロナウイルス類とスラウェシマカクの進化 |
| 二国間交流事業 共同研究(日本学術振興会) | 今井 啓雄 | 1,122,000 | 霊長類における miRNA の発現解析 |
| | 2 件 | 3,459,500 | |

(3) 共同研究費（金額は産官学連携推進経費を除く）

| 研究種別・委託者等 | 研究代表者 | 金額 | 研究課題 |
|--|-------|-----------|---|
| 共同研究(大日本住友製薬株式会社) | 中村 克樹 | 3,000,000 | 霊長類を対象とした動作理解の比較研究 |
| 共同研究(日本クレア株式会社) | 中村 克樹 | 2,000,000 | コモンマーモセットの新たな飼料開発 |
| 共同研究(田辺三菱製薬株式会社) | 高田 昌彦 | 440,000 | 予定新規抗体治療薬開発に関するパーキンソン病サルモデルを用いた基礎的研究 |
| 共同研究(Norwegian University of Science and Technology) | 高田 昌彦 | 1,084,500 | Japan and Norway United in Brain, Educations and Therapeutics (JANUBET) |
| | 4 件 | 6,524,500 | |

(4) 文部科学省・日本学術振興会科学研究費助成事業等（金額は間接経費を除く）

| 研究種目 | 研究代表者 | 金額 | 研究課題 |
|-------------------------|-------|------------|---|
| 新学術領域研究 | 友永 雅己 | 2,300,000 | 顔・身体認識理解への統合認知進化的アプローチ:「発達-文化-進化」の観点から |
| 新学術領域研究 | 雨森 賢一 | 2,300,000 | 悲観的な価値判断と相関する大脳皮質一線条体における新たなベータ波 |
| 新学術領域研究 | 高田 昌彦 | 3,800,000 | パーキンソン病サルモデルにおける多領域集団発振・同期現象の解析と介入 |
| 新学術領域研究 | 雨森 賢一 | 2,200,000 | 霊長類ドーパミン経路における価値判断を操作するスパイクパターンの同定 |
| 新学術領域研究 | 井上 謙一 | 4,500,000 | 霊長類の前頭前野を巡る「行動選択」神経ネットワークの構築様式 |
| 特別推進研究 | 高田 昌彦 | 86,400,000 | 発達障害に関わる神経生物学的機構の霊長類的基盤の解明 |
| 基盤研究(S) | 友永 雅己 | 28,300,000 | 野生の認知科学:こころの進化とその多様性の解明のための比較認知科学的アプローチ |
| 基盤研究(A)一般 | 西村 剛 | 12,700,000 | サル類の声帯振動特性に関する実験的研究による話しことばの進化プロセスの解明 |
| 基盤研究(A)一般 | 中村 克樹 | 3,700,000 | 遺伝子改変を用いないサル精神疾患モデルの作出と脳機能異常の解明 |
| 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B)) | 橋本 千絵 | 2,800,000 | ヒト科における閉経の進化:野生類人猿の老齡メスの性ホルモン動態と繁殖戦略の研究 |
| 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B)) | 半谷 吾郎 | 2,100,000 | 腸内細菌による野生大型類人猿の消化能力 |
| 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B)) | 湯本 貴和 | 5,000,000 | アマゾン浸水林において水域-陸域連関を駆動する生物間相互作用の解明 |

| | | | |
|-----------------------------|------------------|-----------|---|
| 国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化(B)) | 岡本 宗裕 | 2,500,000 | 野生由来マカク類のサルマリアの網羅的解析と宿主特異性を規程する宿主因子の探索 |
| 基盤研究(B)一般 | 江木 直子 | 2,100,000 | 古第三紀東南アジアの陸棲脊椎動物相:北半球動物相の変遷にどのように寄与したか? |
| 基盤研究(B)一般 | 半谷 吾郎 | 4,200,000 | 「普通」の生態系での植物食動物のナトリウム獲得戦略 |
| 基盤研究(B)一般 | 香田 啓貴 | 2,900,000 | ヒト発話コミュニケーションの進化と成立:前駆体能力に関する実験的研究 |
| 基盤研究(B)一般 | 古賀 章彦 | 5,100,000 | ゲノム組成の変化を伴ってヨザルで実現した暗環境への適応:霊長類全般での再現性 |
| 基盤研究(B)一般 | 井上 謙一 | 5,000,000 | 手続き学習に関わる霊長類大脳皮質-大脳基底核ループ回路の構造と機能の解明 |
| 基盤研究(C) | 竹元 博幸 | 100,000 | ヒトの地上性の起源と後期中新世の気候変動 |
| 基盤研究(C) | 大石 高生 | 250,000 | ムコ多糖症ニホンザルモデルの作製、維持と治療に関する基礎研究 |
| 基盤研究(C) | 脇田 真清 | 200,000 | 早期教育のブローカ野における音楽・行為表象への影響:子どもピアニストのブローカ野 |
| 基盤研究(C) | 辻 大和 | 1,400,000 | げっ歯類・糞虫類による種子の二次的処理は果実食者の散布効率を変化させるのか? |
| 基盤研究(C) | 今村 公紀 | 1,400,000 | チンパンジー/ヒト iPS 細胞の初期神経発生動態から探る「ヒト化」の分子基盤 |
| 基盤研究(C) | 濱田 穰 | 1,000,000 | アカゲザル種群の進化過程の解明 |
| 基盤研究(C) | 宮地 重弘 | 1,700,000 | 両手の協調運動の基盤となるサル運動関連皮質領野の半球間神経連絡の解析 |
| 基盤研究(C) | 足立 幾磨 | 1,400,000 | 感覚間一致をとおしてみた言語の進化的起源 |
| 基盤研究(C) | 勝山 成美 | 1,500,000 | 身体所有感の神経基盤の研究—サルにおけるラバーハンド錯覚モデルの確立 |
| 挑戦的研究(萌芽) | 服部 裕子 | 1,400,000 | 音楽性の起源:類人猿を対象とした比較認知科学的研究 |
| 挑戦的研究(萌芽) | 西村 剛 | 1,200,000 | ヒト以外の哺乳類における鼻腔の生理学的機能に関するシミュレーションモデルの開発 |
| 挑戦的研究(萌芽) | 古賀 章彦 | 2,300,000 | 眼の不合理な構造の謎:視細胞内レンズの進化的起源から迫る |
| 挑戦的研究(萌芽) | 雨森 賢一 | 1,500,000 | 社会ランクの変化を引き起こす霊長類の局所回路の同定 |
| 挑戦的研究(萌芽) | 今井 啓雄 | 2,500,000 | 味覚機能の未病状態検知と味蕾移植の可能性探索 |
| 挑戦的研究(萌芽) | 平崎 鋭矢 | 2,800,000 | 手指の動きの進化 ロコモーションとマニピュレーションの間で |
| 挑戦的研究(萌芽) | 井上 謙一 | 2,000,000 | 霊長類脳における非侵襲的かつ領野選択的な遺伝子導入法の開発 |
| 挑戦的研究(萌芽) | 後藤 幸織 | 3,000,000 | 依存症の訓化理論:依存症の進化的観点からの理解に向けた研究 |
| 若手研究(A) | MacIntosh Andrew | 1,400,000 | Primate and parasite community assemblages as indicators of a transitioning environment |
| 若手研究 | 宮本 陽子 | 1,900,000 | 下痢型過敏性腸症候群(IBS) 霊長類モデルの確立とその病態解析 |

| | | | |
|---------------------------|--------------------------------------|-------------|--|
| 若手研究 | 伊藤 毅 | 1,500,000 | ゲノムと形態に基づくニホンザルの東西分化モデルの検証と寒冷地への局所適応の解明 |
| 若手研究 | 早川 卓志 | 1,200,000 | 採食適応に着目した霊長類と非霊長類哺乳類のゲノム・メタゲノム収斂進化の解明 |
| 若手研究 | 鴻池 菜保 | 900,000 | 神経炎症に起因する統合失調症霊長類モデルの妥当性評価および画像マーカーの確立 |
| 若手研究 | 桂 有加子 | 1,600,000 | 性染色体ターンオーバーの集団遺伝学モデルの構築とその分子進化機構の解明 |
| 研究活動スタート支援 | RIGAILL LUCIE | 1,100,000 | Face and lips coloration as a fertility signal in women |
| 研究活動スタート支援 | WILSON DUNCAN | 1,100,000 | Comparing emotional attention in humans and chimpanzees: Is the touchscreen dot probe task an effective tool? |
| 研究活動スタート支援 | 網田 英敏 | 1,100,000 | ルーティン行動と状況依存的行動を制御する大脳基底核回路の解明 |
| 特別研究員奨励費 | 山本 知里 | 1,000,000 | ハンドウイルカにおける社会的知性に関する比較認知科学的研究 |
| 特別研究員奨励費 | 石塚 真太郎 | 900,000 | Pan 属二種の地域社会構造の解明 |
| 特別研究員奨励費 | MacIntosh Andrew | 300,000 | ニホンザルにおける乳幼児 handling および乳幼児とワカモノの社会関係の形成 |
| 特別研究員奨励費 | MacIntosh Andrew | 900,000 | 生息環境の悪化が絶滅の危機に瀕した霊長類におよぼす影響評価 |
| 特別研究員奨励費 | 菊田 里美 | 1,100,000 | 進行性パーキンソン病モデルサルを用いた、病態進行に伴う脳内状態変化の経時的解析 |
| 特別研究員奨励費 | 田辺 創思 | 900,000 | 先端的神経ネットワーク解析手法による大脳皮質—大脳基底核ループの構築様式の解明 |
| 特別研究員奨励費 | 川口 ゆり | 900,000 | 「赤ちゃんらしさ」の認知の進化に関する比較認知科学的研究 |
| 特別研究員奨励費 | GAO JIE | 900,000 | チンパンジーにおける身体の知覚に関する比較認知科学的研究 |
| 特別研究員奨励費 | 糸井川 壮大 | 900,000 | ジェントルキツネザルのタケ食適応過程における味覚受容体進化機構の解明 |
| 特別研究員奨励費 | 高田 裕生 | 1,100,000 | 霊長類脊髄損傷モデルにおける運動関連領野の神経可塑的变化の解明 |
| 特別研究員奨励費 | GONCALVES Andre | 1,100,000 | ヒト以外の霊長類は死の概念を持つか？チンパンジーとマカクザルの生死に対する反応 |
| 特別研究員奨励費 | 武 真祈子 | 900,000 | 新世界ザルの食物分配からみる『隣の芝は青い』現象の生態学的・比較認知科学的検討 |
| 特別研究員奨励費 | MacIntosh Andrew | 700,000 | チンパンジーにおける「嫌悪」を引き起こす認知的・生理的メカニズムの分析 |
| JSPS 外国人招へい研究者 (短期) | 脇田 真清 Dirter Hillert | 150,000 | シンクタスの進化:サルからヒトのことばへ |
| JSPS 外国人招へい研究者 (短期) | 宮部 貴子 MILLS Daniel David | 150,000 | 動物の痛みに関する比較研究:動物福祉科学の確立を目指して |
| JSPS 外国人特別研究員 (欧米短期) | 宮部 貴子 Catia Filipa Correia Caeiro | 840,000 | コモンマーモセットにおける感情の知覚に対する生理学のおよび行動学的反応 |
| JSPS 外国人特別研究員 (サマー・プログラム) | 西村 剛 LEACH Rose Sang | 158,500 | Examining Long Bone and Thorax Phenotypic Plasticity: A Case Study of Skeletal Differences Between Northern and Southern Japanese Macaques |
| | 61 件 | 228,248,500 | |

(5) 医療研究開発推進事業費補助金 (金額は直接経費のみ)

| 研究種別 | 研究代表者 | 金額 | 研究課題 |
|---|-------|------------|--|
| ナショナルバイオリソースプロジェクト (NBRPニホンザル) | 中村 克樹 | 80,454,545 | ライフサイエンス研究用ニホンザルの飼育・繁殖・供給 (大型飼育施設でのニホンザルの繁殖・育成事業) |
| ナショナルバイオリソースプロジェクト (GAIN) | 松沢 哲郎 | 9,800,000 | 情報発信体制の整備とプロジェクトの総合的推進 (大型類人猿情報ネットワークの展開) |
| ナショナルバイオリソースプロジェクト (NBRP基盤技術整備プログラム) | 中村 克樹 | 2,400,000 | ニホンザルバイオリソースにおけるBウイルス検査法の開発 |
| | 3 件 | 92,654,545 | |

(6) 研究大学強化促進事業 (金額は直接経費のみ)

| 研究種別 | 研究代表者 | 金額 | 研究課題 |
|--------------|-------|-----------|--|
| 研究大学強化促進費補助金 | 高田 昌彦 | 3,000,000 | 新規ウイルスベクターを用いた非侵襲的な霊長類脳への 遺伝子導入技術の開発(経費A) |
| | 1 件 | 3,000,000 | |

(7) 国立大学改革強化推進補助金 (金額は直接経費のみ)

| 研究種別 | 研究代表者 | 金額 | 研究課題 |
|------------|-------|-----------|--------------------|
| 京大流経営改革の推進 | 古市 剛史 | 4,725,000 | On-Site Laboratory |
| | 1 件 | 4,725,000 | |

(8) 寄附金 (寄附金額は全学経費 (2%) および部局管理経費 (3%) を控除した金額)

| 寄附金名称等 | 研究代表者 | 金額 | 寄附の目的 |
|---|-------|-----------|--|
| 公益財団法人 豊秋奨学会研究費助成 | 東濃 篤徳 | 513,456 | ニホンザル Bウイルスの基礎的研究 |
| ALL-STAR株式会社 | 古市 剛史 | 700,000 | 野生ボノボ保護区におけるコミュニティプロジェクト |
| (公財)京都大学教育研究振 興財団 令和元年度助成事業研究活 動推進助成 | 平崎 鋭矢 | 1,000,000 | 適応的歩行の生成機序から歩行の進化を探るーバイオメ カニクスと運動生理学的研究 |
| (公財)京都大学教育研究振 興財団 令和元年度助成事業研究活 動推進助成 | 後藤 幸織 | 1,000,000 | 個性を抑圧する社会バイアスの脳神経基盤の解明 |
| (公財)京都大学教育研究振 興財団 令和元年度助成事業研究活 動推進助成 | 坂巻 哲也 | 1,000,000 | ボノボの集団間関係にみられる寛容さは食物環境の豊か さに支えられているのか |
| 第50回(2019年度) 三菱財団自然科学研究助成 | 高井 正成 | 5,000,000 | 史上最大の霊長類ギガントピテクスの謎を探る |
| リバネスユニバーシティ応援 教員 | 今村 公紀 | 100,000 | 若手研究者のキャリア支援のため |

| | | | |
|-------------------------------|-------|------------|-------------------------------|
| 富士通株式会社 | 湯本 貴和 | 3,000,000 | 「知能とはなにか」についての解明のための研究助成 |
| (公財)上原記念生命科学財団 令和元年度 研究助成金 | 網田 英敏 | 2,000,000 | 運動・認知スキルを担う大脳基底核メカニズムの解明研究のため |
| | 9 件 | 14,313,456 | |

2.3 図書

霊長類学の研究成果を網羅する方針で図書を収集しています。特に霊長類学関連論文の別刷は 85,000 点に達し、『霊長類学別刷コレクション』として閲覧に供しています。書籍については全所員からの推薦を受け付け、選定の参考にしています。

(1) 蔵書数

2020 年 3 月末現在、本研究所図書室に所蔵されている資料は、以下の通りです。

- 和書：10,344 冊（製本雑誌も含む）
- 洋書：18,838 冊（製本雑誌も含む）
- 和雑誌・中国雑誌（紀要類も含む）：899 誌
- 洋雑誌（紀要類も含む）：536 誌
- 霊長類学関連別刷（霊長類学別刷コレクション）：約 85,000 点

(2) 資料の所蔵検索

図書室で所蔵している図書・雑誌はすべて【京都大学蔵書検索 KULINE】で検索できます。

【京都大学蔵書検索 KULINE】にアクセスし、[詳細検索]の[所蔵館]で[霊長研]を選択すると、霊長類研究所の蔵書のみヒットします。

詳しくは京都大学図書館機構のホームページをご覧ください。

<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>

霊長類学関連別刷（霊長類学別刷コレクション）は【霊長類学文献索引データベース】で検索できます。

霊長類研究所ホームページから【霊長類学文献索引データベース】にアクセスしてください。

<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/cgi-bin/library/books.cgi>

(3) 霊長類研究所図書室利用規程

I. 開室時間及び休室日

1. 開室時間は、平日 9 時から 17 時までとする。
2. 休室日は、次の各号に掲げるとおりとする。
 - (1) 土曜日及び日曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日
 - (3) 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで
 - (4) 本学創立記念日（6 月 18 日）
 - (5) 8 月第 3 週の月曜日、火曜日及び水曜日（夏季一斉休業日）
3. その他の臨時休室は、その都度掲示する。

II. 閲覧

1. 閲覧の資格を有する者は、次の各号に掲げるものとする。

- (1) 本研究所の所員
 - (2) 本研究所の共同利用研究員
 - (3) (1)及び(2)以外の京都大学に所属する者であって、当該者の所属部局の図書施設又は附属図書館の紹介のあるもの
 - (4) 学外者であって、当該者の所属機関の紹介状又は本研究所所員の紹介状を本研究所所長に提出したもの
 - (5) その他一般利用者
2. 1の(1)から(4)までに該当する者は、書庫又は閲覧室にて資料を閲覧することができる。
 3. 1の(5)に該当する者は、蔵書目録により閲覧しようとする資料をあらかじめ特定し、当該資料名及び当該者氏名を学外者利用簿に記入のうえ、図書室職員から当該資料の提供を受けるものとし、当該資料の閲覧は、本研究所所長が指定する場所で行わなければならない。
 4. 本研究所所長は、次の各号の一に該当する場合は、それぞれ当該各号に掲げるものの閲覧を制限することができる。
 - (1) 資料に独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律（平成13年法律第140号。以下「情報公開法」という。）第5条第1号、第2号及び第4号イに掲げる情報が記録されていると認められる場合 当該資料（当該情報が記録されている部分に限る。）
 - (2) 資料の全部又は一部を一定の期間公にしないことを条件に個人又は情報公開法第5条第2号に規定する法人等から寄贈又は寄託を受けている場合（当該期間が経過するまでの間に限る。）当該資料
 - (3) 原本を利用させることにより当該原本の破損又は汚損を生じるおそれがある場合 当該原本

Ⅲ. 貸出及び返却

1. IIの1の(1)又は(2)に該当する者は、下記に従い資料を借用できる。ただし、(2)に該当する者が借用を希望する場合には、所内対応者の承諾を得た上で、あらかじめ利用者カードを本研究所所長に提出しなければならない。
 - 1) 借用資料の種類及び借用方法は、以下のとおりとする。
 - a. 単行本
 - (i) 単行本は、1ヵ月間借用できる。
 - (ii) 借用時には、ブックカード及び代本板用紙に必要事項を記入する。ブックカードは所定の箱に入れ、代本板用紙は代本板の背に挿入して、書架上の借用する本のあった位置に置く。
 - (iii) 借用後は、返却台に返却する。
 - b. 製本雑誌
 - (i) 製本雑誌は、3日間借用できる。
 - (ii) 借用方法は、単行本に準じる。
 - (iii) 借用後は、返却台に返却する。
 - c. 未製本雑誌
 - (i) 未製本の雑誌は、15時から翌朝10時までの間に限り借用できる。
 - (ii) 借用時には、貸出カードに必要事項を記入する。
 - (iii) 借用後は、返却台に返却する。
 - d. 別刷
 - (i) 別刷は、開室時間中の図書室内での利用に限る。
 - (ii) 利用後は、返却台の箱に返却する。
 - e. 他機関からの借用資料
 - (i) 他機関の所蔵する資料の利用を希望するときは、図書室を通じて借用を申し込むことができる。
 - (ii) 他機関からの借用資料は、開室時間中の図書室内での利用に限る。
 - (iii) 利用後は、図書室職員に返却する。
 - 2) 参考図書その他禁帯出扱いの資料は貸し出さない。
 - 3) 借用資料は、原則として所外に持ち出すことはできない。
 - 4) 借用中の資料を転貸してはならない。
 - 5) 再手続をすることにより貸出期限の延長ができる。ただし、他に借用希望者がいるときは、当該借用希望者を優先する。
2. IIの1の(3)に該当する者は、所属部局の図書施設又は附属図書館を通じて借用を依頼することができる。
 - 1) 借用資料は単行本に限る。

- 2) 貸出期限は2週間とするが、本研究所員から当該資料利用の要請があった場合には、貸出期限内であっても、速やかに返却するものとする。

IV. 総点検及び長期貸出

1. 定期的に資料の総点検を行う。資料の総点検を行うに当たって図書室職員から現物確認の要請があった場合、資料の貸出を受けている者は、貸出期限にかかわらず、当該資料を一旦返却しなければならない。
2. 総点検期間中、図書室を休室とすることがある。
3. 図書委員会により研究室等への備付けが認められたときは、長期貸出扱いとする。長期貸出扱いの資料は、長期貸出扱いとなった年度の翌年度から毎年度1回現物確認を行い、現物確認の際に長期貸出扱いの更新を行う。

V. 個人情報漏えい防止のために必要な措置

1. 図書室は、図書室資料に個人情報（京都大学における個人情報の保護に関する規程（平成17年達示第1号）第2条第1項に規定するものをいう。）が記録されている場合には、当該個人情報の漏えいの防止のため、次の各号に掲げる措置を講じるものとする。
 - (1) 書庫の施錠その他の物理的な接触の制限
 - (2) 図書室資料に記録されている個人情報に対する不正アクセス（不正アクセス行為の禁止等に関する法律（平成11年法律第128号）第2条第4項に規定する不正アクセス行為をいう。）を防止するために必要な措置
 - (3) 図書室の職員に対する教育・研修の実施
 - (4) その他当該個人情報の漏えいの防止のために必要な措置

VI. その他

1. 図書室資料の目録及びこの図書室利用規程については、常時図書室に備え付ける。
2. 資料を紛失又は汚損した場合は、代本又は相当の代金で補わなければならない。
3. 借用資料を貸出期限までに返却しなかった場合、以後の貸出を一定期間停止することがある。
4. 図書室内（書庫を含む。）は禁煙とする。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

2.4 サル類飼育頭数・動態

2019年度（令和元年／平成31年度）末 飼育頭数

| 種 名 | 頭 数 |
|---------------|------|
| コモンマーモセット | 166 |
| ワタボウシタマリン | 2 |
| ヨザル | 0 |
| フサオマキザル | 0 |
| ケナガクモザル | 0 |
| ニホンザル | 354 |
| ニホンザル(NBRP) * | 408 |
| アカゲザル | 188 |
| タイワンザル | 0 |
| カニクイザル | 11 |
| マントヒヒ | 0 |
| アジルテナガザル | 3 |
| チンパンジー | 12 |
| 合 計 | 1144 |

*NBRP（「ニホンザル」バイオリソース）プロジェクトで飼育しているもの

2019年度（令和元年／平成31年度）サル類動態表

| 区 分 種 名 | 増 加 | | | 減 少（死亡など） | | | | | | | | | | | 増 減 | |
|-----------------|-----|-----|-----|----------------|--------------|-------|-------|-------------|-------------|-------|-------|-----|-------|---------|-----|---------|
| | 出 産 | 導 入 | 小 計 | （実験による） 安楽殺 | （その他） 安楽殺 | 事 故 死 | 外 傷 死 | 呼 吸 器 系 疾 患 | 消 化 器 系 疾 患 | 感 染 症 | 泌 尿 器 | 衰 弱 | そ の 他 | 剖 検 不 能 | | 所 外 供 給 |
| コモンマーモセット | 58 | 6 | 64 | 11 | 3 | | | | 1 | | | 2 | 13 | 15 | 45 | 19 |
| ニホンザル | 27 | | 27 | 14 | 5 | 1 | 1 | | 1 | | | 1 | 7 | 20 | 50 | -23 |
| ニホンザル (NBRP) | 72 | | 72 | 3 | 6 | | 2 | 1 | 6 | | | 3 | 13 | 39 | 73 | -1 |
| アカゲザル | 15 | | 15 | 20 | | | 1 | 1 | 3 | | | | 4 | 4 | 33 | -18 |
| タイワンザル | | | 0 | | 1 | | | | | | | | | | 1 | -1 |
| マントヒヒ | | | 0 | 2 | | | | | | | | | | | 2 | -2 |
| ケナガクモザル | | | 0 | | | | | | 1 | | | | | | 1 | -1 |
| ワタボウシタマリン | | | 0 | | 1 | | | 1 | | | | | | 1 | 3 | -3 |
| ヨザル | | | 0 | | | | | | | | | | | 6 | 6 | -6 |
| フサオマキザル | | | 0 | 4 | | | | | | | | | | | 4 | -4 |
| 合 計 | 172 | 6 | 178 | 54 | 16 | 1 | 4 | 3 | 12 | 0 | 0 | 6 | 37 | 85 | 218 | -40 |

2.5 資料

霊長類研究所が所蔵する資試料は、骨格・液浸・冷凍標本、分子生物学用試料、獣医学的臓器標本、CT画像、化石模型などからなり、所外の研究者にも公開され、国内外の多くの研究者の研究推進に大きく貢献している。資料委員会では、これらの資試料の充実のために、毎年400点以上の新たな各種資試料の受け入れと作製を行っている。また、所蔵資試料は統合データベース PrINTEG で管理しており、各種生物学的試資料については由来個体ごとにまとめられている。多様な研究ニーズに応えられる利用環境の整備を行っている。

所蔵資試料の概要は、WEB Catalogue (<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/databases/matedb/index.html>) で閲覧できる。

(1) 骨格・液浸・冷凍標本

霊長類の骨格標本は10,368点、ホルマリンもしくはアルコールで固定された液浸標本や冷凍標本は1,260点を数える。ニホンザルの標本は4300点を数え、その産地は下北から屋久島までをカバーし、世界最大規模のコレクションである。また、このような大規模な液浸・冷凍標本コレクションは世界的に見ても稀有である。霊長類以外の骨格標本は2,115点、液浸標本は232点を所蔵している。特に、日本産タヌキやテン、ツキノワグマの標本は豊富で、貴重な資料である。標本の各種情報は、データベース PRISK(霊長類)もしくは PRISK-Z(霊長類以外)で検索できる。

(2) 分子生物学用試料

霊長類の分子生物学用試料は、525個体分4,035点を保管している。それらは、大型類人猿ネットワーク(GAIN)の情報を通じて動物園等から譲渡を受けた類人猿の試料や、所内飼育の旧世界ザルや新世界ザルなどの試料で、RNAlater 処理等をして冷凍保管されている。臓器やDNA試料の保管状況や各種情報は、試料データベース PRIGEN で検索することができる。また、線維芽細胞やそこから誘導したiPS細胞等の所蔵情報は PRICEL で検索することができる。保管試料の一部は、九州大学有体物管理センター(<http://mmc-u.jp>)のデータベースでも公開している。

(3) 獣医学的臓器標本

霊長類の獣医学的臓器標本は、本研究所飼育の霊長類個体由来の臓器標本や、外部機関から譲渡を受けた標本からなる。チンパンジー42個体462点の標本をデータベース PRIVET で公開している。その他の標本の保管状況や各種情報は、人類進化モデル研究センターに問い合わせれば、知ることができる。

(4) CT画像

霊長類を主としてCT画像データが77種1,468点ある。所蔵標本のCT画像データ化を進めるとともに、動物園等の協力を得て、所外資料のCT画像データも収集している。それら画像データは、データベース PRICT で管理するとともに、Digital Morphology Museum, DMM (<http://dmm.pri.kyoto-u.ac.jp/dmm/WebGallery/index.html>) で公開している。

(5) 化石模型

化石模型は、人類および中新世ホミノイドを中心に495点を所蔵している。化石模型の各種情報は、データベース PRICAST で検索することができる。

利用方法

骨格・液浸標本の利用手続きは、非破壊的な使用の場合は簡便である。破壊・破損をとまなう利用や貸し出しや資料譲渡も、資料委員会の審査を経た上で可能な場合もある。分子生物学用試料は、譲渡契約等の関係から、原則として共同利用・共同研究採択課題に限って譲渡提供している。各種標本の博物館等の展示などへの貸し出しも行っている。資試料の利用希望者は、まずは、資料委員会もしくは、関係する所員に問い合わせてください。資試料には動物園など学外機関から譲渡された貴重なものも含まれるので、利用規約や契約等の遵守と提供機関に対する利用報告等への協力をお願いします。

(連絡先：資料委員会 pri-shiryō [at] mail2.adm.kyoto-u.ac.)

2.6 人事異動

| 所属分野等 | 職名 | 異動 | | 内容 | 備考 |
|---------|------------------|-------|----------|------|-----------------|
| | | 氏名 | 年月日 | | |
| | 副所長 | 高田 昌彦 | H31.4.1 | 併任 | 任期は R2.3.31 まで |
| | 附属国際共同先端研究センター長 | 湯本 貴和 | H31.4.1 | 併任 | 任期は R3.3.31 まで |
| 細胞生理分野 | 助教 | 桂 有加子 | H31.4.1 | 採用 | 日本大学・助教より |
| 技術室 | 技術職員 | 石上 暁代 | R1.6.30 | 辞職 | |
| | 附属人類進化モデル研究センター長 | 大石 高生 | R1.11.16 | 併任 | 任期は R3.11.15 まで |
| 認知学習分野 | 教授 | 正高 信男 | R2.3.31 | 定年退職 | |
| 系統発生分野 | 助教 | 江木 直子 | R2.3.31 | 任期満了 | |
| 社会進化的分野 | 助教 | 辻 大和 | R2.3.31 | 辞職 | |

2.7 海外渡航

(1) 教職員

| 所属 | 氏名 | 期間 | 目的国 | 目的 |
|---------|------------|----------------|--------|---|
| 社会進化 | MA Huffman | 2019/5/11~6/2 | イタリア | セミナー参加、研究連絡 |
| 統合脳システム | 高田昌彦 | 2019/5/14~5/19 | スペイン | International Conference on Neuroscience 参加・発表・情報収集、研究連絡 |
| 認知学習 | 香田啓貴 | 2019/5/25~6/7 | タイ | 調査、研究連絡 |
| 生態保全 | 湯本貴和 | 2019/5/25~6/10 | ブラジル | フィールド実習参加・指導、研究連絡、The 8th International Workshop 参加・発表 |
| 社会進化 | 古市剛史 | 2019/5/28~6/2 | ドイツ | Symposium:40 years of research of the Tai Chimpanzee 参加・発表・情報収集 |
| 系統発生 | 高井正成 | 2019/6/2~6/17 | ミャンマー | 化石発掘調査、化石標本整理・観察 |
| 生態保全 | 竹元博幸 | 2019/6/3~9/4 | ウガンダ | 生態学的調査、資料収集、研究連絡 |
| 進化形態 | 濱田穰 | 2019/6/14~6/25 | ラオス・タイ | 研究連絡、フィールド調査 |
| 生態保全 | 湯本貴和 | 2019/6/15~6/18 | マレーシア | 生態調査、植林活動引率 |
| 社会進化 | MA Huffman | 2019/6/18~6/23 | マレーシア | 研究連絡 |
| 白眉センター | 雨森賢一 | 2019/6/20~6/29 | アメリカ | 共同研究 |
| 進化形態 | 濱田穰 | 2019/6/29~7/7 | タイ | 霊長類の分布・形態学的調査 |

| | | | | |
|---------|-------------|-------------------------|--------------------|---|
| 国際センター | A MacIntosh | 2019/7/15~7/26 | マレーシア | 第29回コンソーテーションパイオロジー国際会議参加・資料収集、試料採取・データ収集 |
| 細胞生理 | 桂有加子 | 2019/7/18~7/28 | フィンランド・英国 | 研究連絡、Society for Molecular Biology and Evolution 国際学会参加・発表・資料収集 |
| 進化形態 | 濱田穰 | 2019/7/19~7/27 | タイ | 霊長類の分布・形態学的調査 |
| 系統発生 | 江木直子 | 2019/7/20~7/27 | チェコ | ICVM2019 参加・発表・資料収集 |
| 進化形態 | 濱田穰 | 2019/8/3~8/11 | タイ | Southern Thai long-tailed macaques: Stone tool-use behavior, genetics, morphology and infectious diseases 参加・発表、研究連絡 |
| ゲノム進化 | 今井啓雄 | 2019/8/4~8/11 | カナダ | 第10回国際比較生理生化学会議参加・発表・情報収集 |
| 社会進化 | 古市剛史 | 2019/8/4~9/7 | コンゴ民主共和国・ウガンダ | 生態学的調査、APCC 及び African Primatological Society 学会参加・資料収集 |
| 統合脳システム | 井上謙一 | 2019/8/9~8/18 | ノルウェー | Molecular Genetic Tools for the Study of Neural Circuits 参加・発表・情報収集 |
| 社会進化 | 辻大和 | 2019/8/11~8/31 | インドネシア | 野外調査、情報収集、研究連絡 |
| 統合脳システム | 高田昌彦 | 2019/8/13~8/19 | ノルウェー | Molecular Genetic Tools for the Study of Neural Circuits 参加・発表・情報収集 |
| 細胞生理 | 桂有加子 | 2019/8/15~9/3 | スウェーデン・フィンランド・アメリカ | 研究連絡、The 2019 Congress of the European Society for Evolutionary Biology 及び HpGP meeting 参加・情報収集 |
| 人類センター | 田中洋之 | 2019/8/17~8/28 | インドネシア | 研究連絡、野外調査 |
| 思考言語 | 林美里 | 2019/8/21~8/30 | マレーシア | 野外調査、研究連絡 |
| 社会進化 | MA Huffman | 2019/8/30~9/8 | オーストリア | 67th International Congress and Annual Meeting of the Society for Medicinal Plant and Natural Product Research 参加・発表・情報収集 |
| 社会進化 | R Lucie | 2019/9/6~9/14 | フランス | EFP/PSGB International Conference 参加・発表・情報収集、資料収集 |
| 認知学習 | 香田啓貴 | 2019/9/7~9/13 | ポルトガル | Protolang2019 参加・発表・情報収集 |
| 思考言語 | 林美里 | 2019/9/7~9/16 | ポルトガル | The 6th edition of the Protolang 6 conference 参加・発表・資料収集、行動観察調査、研究連絡 |
| 認知学習 | 正高信男 | 2019/9/8~9/14 | イスラエル | 4th International Medical Cannabis Conference 参加・情報収集、研究連絡 |
| 生態保全 | 竹元博幸 | 2019/9/18~ 2020/3/22 | ウガンダ | 生態調査、資料収集 |
| 認知学習 | 後藤幸織 | 2019/9/20~9/26 | 韓国 | The 10th IBRO World congress of Neuroscience 参加・発表・情報収集 |
| 高次脳機能 | 中村克樹 | 2019/9/24~9/28 | 韓国 | Global Neuroethics Summit 参加・発表・情報収集 |

| | | | | |
|---------|-------------|----------------------|-------------|--|
| 進化形態 | 濱田穰 | 2019/9/25~10/2 | ベトナム・タイ | 9th International Symposium on Asian Vertebrate Species Diversity 参加・発表・情報収集、研究連絡、生態調査 |
| 社会進化 | R Lucie | 2019/9/28~10/11 | フランス | 第32回フランス霊長類学会大会参加・情報収集、研究連絡 |
| 社会進化 | MA Huffman | 2019/10/2~2019/10/18 | チェコ・ポルトガル | 研究連絡、イベリア霊長類学会参加・発表・情報収集 |
| 国際センター | 富谷進 | 2019/10/7~10/14 | オーストラリア | The 79th Society of Vertebrate Paleontology 参加・発表、研究連絡 |
| 人類センター | 宮部貴子 | 2019/10/8~10/17 | アメリカ | 2019 Association of primate Veterinarian ワークショップ参加・発表・情報収集 |
| 高次脳機能 | 中村克樹 | 2019/10/18~10/25 | アメリカ | 研究連絡、第49回北米神経科学大会参加・情報収集 |
| 統合脳システム | 高田昌彦 | 2019/10/18~10/25 | アメリカ | 研究連絡、第49回北米神経科学大会参加・情報収集 |
| 高次脳機能 | 鴻池菜保 | 2019/10/18~10/25 | アメリカ | 第49回北米神経科学大会参加・情報収集 |
| 白眉センター | 雨森賢一 | 2019/10/18~10/24 | アメリカ | 第49回北米神経科学大会参加・発表・情報収集 |
| 高次脳機能 | 宮地重弘 | 2019/10/18~10/25 | アメリカ | 第49回北米神経科学大会参加・情報収集 |
| 統合脳システム | 井上謙一 | 2019/10/19~10/25 | アメリカ | 第49回北米神経科学大会参加・発表・情報収集 |
| 系統発生 | 高井正成 | 2019/10/27~11/4 | ミャンマー | 化石標本観察 |
| 系統発生 | 高井正成 | 2019/11/17~11/29 | アメリカ | 骨格標本観察 |
| 系統発生 | 江木直子 | 2019/11/17~11/24 | アメリカ | 骨格形態データ収集 |
| 統合脳システム | 高田昌彦 | 2019/11/24~11/29 | スペイン | 研究連絡、共同実験、情報収集 |
| 統合脳システム | 井上謙一 | 2019/11/24~11/29 | スペイン | 研究連絡、共同実験、情報収集 |
| 国際センター | 富谷進 | 2019/11/29~12/15 | アメリカ | 標本測定、観測、調査・データ収集 |
| 国際センター | A MacIntosh | 2019/12/3~12/15 | チェコ | 合同ミーティング参加・発表、研究連絡 |
| 細胞生理 | 岡本宗裕 | 2019/12/5~12/9 | 台湾 | The 3rd Asian Wild Cat Conservation Workshop 2019 参加・情報収集、野外調査 |
| 進化形態 | 濱田穰 | 2019/12/6~12/10 | タイ | 形態・遺伝分析 |
| 生態保全 | 半谷吾郎 | 2019/12/8~12/22 | マレーシア | 研究連絡、資料収集、野外調査 |
| 社会進化 | MA Huffman | 2019/12/13~12/20 | 台湾 | 研究連絡、セミナー参加・情報収集 |
| 生態保全 | 橋本千絵 | 2019/12/18~2020/1/4 | ウガンダ | 研究連絡、生態調査、資料収集 |
| 認知学習 | 正高信男 | 2020/1/8~1/27 | タイ・マルタ・オマーン | 国際教育工学会議2020、Medical Cannabis Conference & Expo 及び湾岸諸国自閉症学会参加・情報収集、施設見学 |
| 進化形態 | 濱田穰 | 2020/1/9~1/17 | タイ | 共同研究 |
| 人類センター | 兼子明久 | 2020/1/12~1/17 | タイ | 研究連絡、技術支援 |
| 細胞生理 | 桂有加子 | 2020/1/12~1/17 | タイ | 研究連絡 |
| 細胞生理 | 岡本宗裕 | 2020/1/12~1/17 | タイ | 研究連絡、サルの健康診断補助 |
| 社会進化 | 辻大和 | 2020/1/18~1/25 | インドネシア | 生態調査、研究連絡 |
| 認知学習 | 香田啓貴 | 2020/2/5~2/12 | オーストラリア | 研究連絡 |

| | | | | |
|--------|------------|----------------|--------|--------------------------------|
| 進化形態 | 濱田穰 | 2020/2/6～2/12 | インド・タイ | 第7回アジア霊長類シンポジウム参加・発表・情報収集、調査準備 |
| 進化形態 | 濱田穰 | 2020/2/14～2/27 | タイ | マカク類の分布・形態多様性調査、研究試料整理 |
| 系統発生 | 江木直子 | 2020/2/22～3/6 | ミャンマー | 化石発掘調査、化石標本整理・観察 |
| 系統発生 | 高井正成 | 2020/2/22～3/8 | ミャンマー | 化石発掘調査、化石標本整理・観察 |
| 認知学習 | 後藤幸織 | 2020/2/24～3/2 | ドイツ | 研究連絡 |
| 人類センター | 田中洋之 | 2020/3/4～3/20 | スリランカ | 研究連絡、行動観察・試料収集 |
| 社会進化 | MA Huffman | 2020/3/4～3/20 | スリランカ | 研究連絡、行動観察・試料収集、実習候補地視察 |

(2) 大学院生・研究生

| 所属 | 氏名 | 期間 | 目的国 | 目的 |
|---------|--------------|--------------------------|----------|--|
| 生態保全 | 武真祈子 | 2018/11/17～ 2019/9/21 | ブラジル | PWS 自主 FW 実習 |
| 社会進化 | 柴田翔平 | 2019/3/6～5/30 | ウガンダ | PWS 自主 FW 実習 |
| 生態保全 | 峠明杜 | 2019/3/18～6/17 | ウガンダ | PWS 自主 FW 実習 |
| 系統発生 | 浅見真生 | 2019/6/3～6/20 | ミャンマー | 化石発掘調査、化石標本整理・観察 |
| 生態保全 | 峠明杜 | 2019/6/24～9/23 | ウガンダ | PWS 自主 FW 実習、情報収集 |
| 思考言語 | 徐沈文 | 2019/7/17～8/1 | アメリカ | A joint meeting of the 56th Annual Conference of the Animal Behavior Society and the 36th International Ethological Conference 参加・発表・情報収集、資料収集 |
| 思考言語 | 川口ゆり | 2019/7/17～8/1 | アメリカ | A joint meeting of the 56th Annual Conference of the Animal Behavior Society and the 36th International Ethological Conference 参加・発表・情報収集、資料収集 |
| ゲノム進化 | 糸井川壮大 | 2019/7/19～9/9 | マダガスカル | 研究連絡、野外調査、試料収集 |
| 社会進化 | H Nautiyal | 2019/7/21～7/29 | マレーシア | The 29th International Congress for Conservation Biology 参加・情報収集 |
| 社会進化 | 柴田翔平 | 2019/7/21～ 2020/1/18 | コンゴ民主共和国 | PWS 自主 FW 実習 |
| 社会進化 | 石塚真太郎 | 2019/7/22～7/29 | アメリカ | A joint meeting of the 56th Annual Conference of the Animal Behavior Society and the 36th International Ethological Conference 参加・発表・情報収集、資料収集 |
| 社会進化 | JSA Pastrana | 2019/8/2～9/20 | ベトナム | 野外調査 |
| 統合脳システム | A Zheng | 2019/8/10～8/19 | ノルウェー | Molecular Genetic Tools for the Study of Neural Circuits 参加・情報収集 |
| 統合脳システム | 大塚友紀子 | 2019/8/10～8/19 | ノルウェー | Molecular Genetic Tools for the Study of Neural Circuits 参加・情報収集 |

| | | | | |
|---------|--------------|----------------------|-------------------------------|---|
| 統合脳システム | O Jungmin | 2019/8/10~8/19 | ノルウェー | Molecular Genetic Tools for the Study of Neural Circuits 参加・情報収集 |
| 思考言語 | J Gao | 2019/8/11~9/14 | オーストリア・ハンガリー・ドイツ・オランダ・ベルギー・英国 | 情報交換・資料収集、42nd edition of European Conference on Visual Perception 及び EFP/PSGB 大会参加・発表・情報収集 |
| 思考言語 | 横山実玖歩 | 2019/8/21~8/30 | マレーシア | 野外調査、研究連絡、施設見学 |
| ゲノム進化 | Y Xiaochan | 2019/9/1~9/10 | インドネシア | PWS 自主 FW 実習 |
| 思考言語 | A Goncalves | 2019/9/6~9/26 | 英国 | 資料収集、EFP/PSGB International Conference 参加・発表・情報収集 |
| 社会進化 | H Nautiyal | 2019/9/8~9/14 | オーストリア | International Mountain Conference2019 参加・情報収集 |
| 認知学習 | S Tripathi | 2019/9/19~9/26 | 韓国 | 研究連絡、The 10th IBRO World congress of Neuroscience 参加・発表・情報収集 |
| 認知学習 | 浅岡由衣 | 2019/9/20~9/26 | 韓国 | The 10th IBRO World congress of Neuroscience 参加・発表・情報収集 |
| 社会進化 | JSA Pastrana | 2019/9/23~9/30 | ベトナム | PWS 自主 FW 実習 |
| 生態保全 | 武真祈子 | 2019/10/3~2020/3/21 | ブラジル | 野外生態調査、XVIIICongresso Brasileiro de Primatologia-Educando Primatas 参加・情報収集 |
| 思考言語 | A Goncalves | 2019/10/7~10/15 | ポルトガル | Iberian Primatological Conference 参加・資料収集、情報収集 |
| 統合脳システム | 大塚友紀子 | 2019/10/18~10/24 | アメリカ | 第 49 回北米神経科学大会参加・発表・情報収集 |
| 統合脳システム | 高田裕生 | 2019/10/18~10/24 | アメリカ | 第 49 回北米神経科学大会参加・発表・情報収集 |
| 統合脳システム | 木村慧 | 2019/10/18~10/24 | アメリカ | 第 49 回北米神経科学大会参加・発表・情報収集 |
| 人類センター | V Gris | 2019/10/24~11/13 | ブラジル | 研究連絡、XVIIICongresso Brasileiro de Primatologia-Educando Primatas 参加・情報収集 |
| ゲノム進化 | Y Xiaochan | 2019/10/30~11/5 | 中国 | 情報収集、The 16th Anniversary Symposium of China Primatological Society 参加 |
| 国際センター | K Keuk | 2019/11/24~12/20 | チェコ | 共同研究研修参加 |
| 国際センター | A Langgeng | 2019/11/24~12/22 | チェコ | 共同研究研修参加 |
| 国際センター | X Zhihong | 2019/11/24~12/22 | チェコ | 共同研究研修参加 |
| 生態保全 | L Wanyi | 2019/12/8~12/22 | マレーシア | 研究連絡、資料収集、野外調査 |
| 思考言語 | R Costa | 2019/12/12~12/27 | ポルトガル | PWS 自主 FW 実習、情報収集 |
| 生態保全 | H Tianmeng | 2019/12/24~2020/1/14 | 中国 | 野外生態調査、研究連絡 |
| 社会進化 | 横山拓昌 | 2020/1/6~4/13 | コンゴ民主共和国 | 生態調査、資料収集 |
| ゲノム進化 | 糸井川壮大 | 2020/2/2~2/9 | アメリカ | 情報収集、研究連絡 |

| | | | | |
|------|------------|---------------|-------|------------------|
| 系統発生 | 浅見真生 | 2020/2/22~3/7 | ミャンマー | 化石発掘調査、化石標本整理・観察 |
| 認知学習 | S Tripathi | 2020/2/24~3/2 | ドイツ | 研究連絡 |
| 認知学習 | 浅岡由衣 | 2020/2/24~3/2 | ドイツ | 研究連絡 |

(3) 教務補佐員・技能補佐員・技術補佐員・事務補佐員

| 所属 | 氏名 | 期間 | 目的国 | 目的 |
|------|----------|---------------|-------|---|
| 思考言語 | D Wilson | 2019/8/4~8/12 | ノルウェー | 53rd Congress of the International Society for Applied Ethology 参加・発表・資料収集 |
| 思考言語 | D Wilson | 2019/9/6~9/21 | 英国 | 資料収集、EFP/PSGB International Conference 及び The 4th Annual Meeting of AWRN 参加・発表・情報収集 |

(4) 研究員

| 所属 | 氏名 | 期間 | 目的国 | 目的 |
|--------|---------------|----------------|----------|---|
| 国際センター | RSC Takeshita | 2019/4/23~5/26 | ブラジル | 研究連絡、試料採取・分析・共同実験 |
| 系統発生 | 西岡佑一郎 | 2019/6/6~6/17 | ミャンマー | 化石発掘調査、化石標本整理・観察 |
| 社会進化 | 柳 興鎮 | 2019/7/22~7/30 | アメリカ | A joint meeting of the 56th Annual Conference of the Animal Behavior Society and the 36th International Ethological Conference 参加・発表・情報収集 |
| 社会進化 | 坂巻哲也 | 2019/8/11~9/30 | コンゴ民主共和国 | 野外調査、研究連絡、資料収集 |
| 社会進化 | 柳 興鎮 | 2019/8/14~8/24 | インドネシア | 生態調査、研究連絡 |
| 社会進化 | R Lucie | 2020/3/4~3/19 | フランス | 研究連絡、データ分析 |

2.8 非常勤講師

- (霊) 小山 文隆 (工学院大学先進工学部・生命化学科・教授)
「ほ乳類キチナーゼの研究を通して学んだこと」2019年11月11日
- (理) 柳井 啓司 (電気通信大学情報理工学研究科・教授)
「深層学習と画像認識」2020年2月20日~2月21日
- (理) 川合 伸幸 (名古屋大学情報学研究科・准教授)
「認知と情動の生物心理学」2020年1月28日~1月29日

2.9 リサーチ・アシスタント (RA)

(氏名：採用期間)

- 大塚 友紀子 : 2019.5.1~2020.3.31
木村 慧 : 2019.5.1~2020.3.31
TRIPATHI, Srishti : 2019.7.16~2020.3.31
NAUTIYAL, Himani : 2019.10.1~2020.3.31

2.10 ティーチング・アシスタント (TA)

(氏名：採用期間)

一般 TA

| | |
|----------------------------------|-------------------------|
| 李 婉儀 | : 2019.8.16～2019.12.31 |
| YAN, Gaoge | : 2018.8.16～2019.11.30 |
| HE, Tianmeng | : 2019.8.16～2019.12.31 |
| 西村 洋志 | : 2019.9.1～2019.12.31 |
| OH, Jungmin | : 2019.9.1～2019.12.31 |
| ALEJANDRO PASTRANA, Josue Samuel | : 2019.10.1～2019.12.31 |
| 大原 峻太郎 | : 2019.10.16～2019.11.30 |
| 浅岡 由衣 | : 2020.1.16～2020.1.31 |
| ZHENG, Andi | : 2020.2.1～2020.2.29 |
| TRIPATHI, Srishti | : 2020.2.1～2020.2.29 |
| 木村 慧 | : 2020.2.16～2020.2.29 |

全学共通科目 TA

| | |
|---------------|-----------------------|
| 横山 拓真 | : 2019.7.16～2019.7.31 |
| TAN, Wei Keat | : 2020.1.16～2020.2.29 |

国際センターTA

| | |
|--------------------------------|-----------------------|
| GAO, Jie | : 2019.4.1～2019.9.30 |
| NAUTIYAL, Himani | : 2019.4.1～2020.3.31 |
| PEREIRA COSTA, Raquel Filomena | : 2019.10.1～2020.3.31 |

ILAS セミナーTA

| | |
|----------------------|-----------------------|
| 糸井川 壮大 | : 2019.5.1～2019.6.30 |
| 浅岡 由衣 | : 2019.7.1～2019.9.30 |
| 横山 実玖歩 | : 2019.8.1～2019.8.31 |
| 徐 沈文 | : 2019.8.1～2019.8.31 |
| 三田 歩 | : 2019.8.1～2019.8.31 |
| 浅見 真生 | : 2019.8.1～2019.8.31 |
| HALMI, Insani | : 2019.8.1～2019.8.31 |
| GRIS, Vanessa Nadine | : 2019.8.16～2019.8.31 |
| BROCHE, Jr Nelson | : 2019.8.16～2019.8.31 |

2.11 年間スケジュール

2019年

| | |
|----------|---------------|
| 4月3日 | 新入生オリエンテーション |
| 6月18日 | 本学創立記念日 |
| 7月27-28日 | 犬山公開講座「サルに学ぶ」 |
| 7月30-31日 | 大学院修士課程入学試験 |
| 10月9日 | サル慰霊祭 |
| 10月30日 | 運営委員会 |
| 10月27日 | 市民公開日 |

2020年

| | |
|----------|----------------|
| 1月17日 | 博士論文発表会 |
| 1月20日 | 修士論文発表会 |
| 2月13日 | 大学院博士後期課程編入学試験 |
| 2月18-19日 | オープンキャンパス |
| 3月5日 | 運営委員会 |